

各位

上場会社名 日本トムソン株式会社  
 代表者 代表取締役社長 宮地茂樹  
 (コード番号 6480 東証第一部)  
 問合せ先責任者 経理部長 牛越今朝明  
 (TEL. 03-3448-5824)

## 業績予想と実績値との差異および営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ

2021年2月12日に公表しました2021年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2021年3月期第4四半期連結会計期間(2021年1月1日～2021年3月31日)における営業外収益(為替差益)の計上について、下記の通りお知らせいたします。

## 記

## 1. 連結業績予想と実績値との差異について

## (1) 2021年3月期通期連結業績予想と実績値との差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 43,000	百万円 △700	百万円 △500	百万円 △200	円 銭 △2.80
実績値 (B)	44,342	△559	225	215	3.02
増減額 (B-A)	1,342	140	725	415	—
増減率 (%)	3.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	47,457	1,341	1,268	△185	△2.59

## (2) 差異の理由

2021年3月期の通期連結業績につきましては、景気が急回復している中国市場等において想定を上回る販売があったことにより売上高および営業利益は前回予想を上回りました。

経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益の増加に加えて、為替相場が大きく円安に振れたことにより計上した為替差益の影響等により前回予想を上回りました。

## 2. 営業外収益(為替差益)の計上について

2021年3月期第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)において215百万円の為替差損を営業外費用に計上いたしましたが、その後の為替相場の変動により2021年3月期第4四半期会計期間(2021年1月1日～2021年3月31日)において614百万円の為替差益を計上いたしました。この結果、2021年3月期第4四半期連結累計期間(2020年4月1日～2021年3月31日)において、為替差益399百万円を営業外収益に計上しております。これは主として、当社グループが保有する外貨建債権債務の決済および期末(2021年3月末日)時点の為替相場による評価替えにより発生したものであります。

以上